

第2回審議会で検討された意見等及び市の考え方

資料1-1

◇計画全般について

項番	意見の概要	市の考え方
1	市内のスポーツ施設全般について、土日祝日に利用が集中しているが、平日はある程度空きがあると思う。平日の日中に、子どもを幼稚園や保育園に送迎した後、空き時間を有効利用していくなど子育て世代を誘導すれば、利用人数の増加は期待できるのではないかと。	市内体育館では子育て世代の成人を対象とした親子体操教室などのスポーツ教室を実施しております。今後も、親子と一緒に参加できる運動プログラムや家族ぐるみで体力づくりができる機会を充実して提供してまいります。
2	施設の充実について、障害者用のオストメイトトイレの整備も検討していただきたい。	現在の多目的トイレの設置か所数は11か所となっており、その内2か所がオストメイト対応となっております。既存の多目的トイレをオストメイト対応とすることは物理的な課題もありますが、今後設置する多目的トイレも含めて、オストメイト対応を検討してまいります。
3	総合型地域スポーツクラブ運営の目的には、健康寿命の延伸から医療費の適正化も挙げられることから、今後、医療機関等との連携も検討してはどうか。	施策の方向性（3）成人のスポーツへの参加機会の充実では、「スポーツを通じた健康づくり」を具体的施策としております。今後、医療機関と連携して実施できる施策や事業について、健康医療部健康づくり課と相談しながら取り組んでまいります。
4	グラウンドの整備にあたっては、予算の許す限り水はけが良い黒土へ入れ替えを行っていただきたい。	専ら野球に利用されるグラウンドについては、時期をみながら黒土の整備を進めてまいります。
5	障害者のみならずLGBTQの方へも配慮した多目的トイレの整備を検討していただきたい。	公共施設全体における課題と考えておりますので、スポーツ施設においても、どのような方法が適切かなど、整備に向けて検討してまいります。
6	育児中の方に対して、一時保育所と連携したスポーツ推進が考えられないか。	現在もウォーキング講座など一時保育に対応したスポーツ講座を実施しており、今後とも、必要に応じ、一時保育との連携を勘案した事業を推進してまいります。
7	小学校の体育施設は地域で大きな役割を担っている施設であるが、建築が昭和期で老朽化している。スポーツ施設として施設課と連携した予算要求はできないか。	小中学校における体育施設の設備更新については、当該施設の地域での役割も踏まえて、教育委員会施設課と連携を図りつつ進めてまいります。

審議案件に関する質問・意見等について(まとめ)

第1章 スポーツ推進計画の改訂にあたって

		質問・意見等	回答
(1)改訂の趣旨 (2)基本的視点 (3)位置づけ (4)SDGs達成に向けた取組の推進 (5)目標年次 (6)「スポーツ」「運動」の定義について	高寺委員	1.本年度版2頁：SDGsの3.健康と福祉、4.教育の目標を入れたことは画期的と考える。	—
		2.本年度版4頁：スポーツを「する」だけでなく、「みる」「支える」身体活動も含めて捉えることを明記したことで、7頁の②「みる」「支える」スポーツの発展を通じた競技スポーツの推進の項目との整合性が取れた。	—

第2章 本市のスポーツ推進の現状と課題

		質問・意見等	回答
(1)茨木市の背景と現状 (2)国・大阪府の動き (3)茨木市におけるスポーツ活動の現状 (4)計画前期における施策・指標の振り返りと課題 (5)アンケート結果からみる現状 (6)計画の改訂に向けた考え方と方向性	長田委員	31頁 施策の方向性(6) スポーツ施設の整備・充実の項目全般に関して、施策の方向性(4) スポーツ施設の整備・充実として34頁へ移行して記載すべく提案させていただきます。	該当ページは計画前期にける施策・指標の振り返りですので、改定前の施策体系で記載しています。
	高寺委員	1.本年度7頁：①スポーツ施設・ストックの適正化において、スポーツ庁の「スポーツ施設のストック適正ガイドライン」では、「小中高等学校等における学校体育・スポーツ施設の減少が約83%、公共スポーツ施設の減少が5%」となっているが本市の状況はどうか？（学校教育関連の内容で管轄が異なるなら回答不要）	本市のスポーツ施設数につきましては、小・中学校においては北辰中学校の廃校に伴い体育館、プール等も廃止になりましたが、本課所管のスポーツ施設については、西河原公園北のグラウンド、庭球場、屋内運動場や桑原ふれあい運動広場が増えております。（高校においては大阪府の所管であるため確認しておりません。）
		2.本年度39頁：「(1) スポーツ施設の適正化と整備」に関しては、もう少し具体的な検討内容を記載した方が好ましい。	ここでは計画の改訂に向けた考え方と方向性を記載しており、具体的施策に関しては第4章の施策の方向性(3) スポーツ施設の整備・充実の中で記載しております。また、個別の事業につきましては、毎年度改定予定の個別施設計画である公共施設中長期保全計画や公共施設最適化実行計画等に記載いたします。
	佐野委員	山間部に住んでいる者として、最近、サイクリングの人達、トレイルランニングの人達に会うことがあります。最近はやってきているスポーツとして、一定のルール作りが必要になるのでは。	サイクリングやランニングなど、スポーツや運動そのものへのルールづくりは考えておりませんが、運動等をするにあたり、交通ルール等を遵守していただく必要がありますので、マナー啓発などについて関係課と取り組んでまいります。

第3章 計画の基本的な考え方

		質問・意見等	回答
(1)基本理念 (2)基本目標 (3)施策の方向性(施策体系)	長田委員	基本目標2 人材育成と施設整備によるスポーツ環境の整備のうち「スポーツ施設の整備・充実」は(3)で明記されていますが(4)と入れ替えるべきと提案します。	基本目標2 施策の方向性の順番につきましては、(1)～(3)の各施策を推進するにあたって、「(4)連携と協働による生涯スポーツの活性化」が横軸となる施策と考えておりますので、(1)～(3)の施策を支えるという観点から最後に記載しています。
	高寺委員	1.本年度版41頁：「少子高齢化の進展、生活の利便性の向上を背景に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響もあり、スポーツに対するニーズは一層多様化しています。」の下線部は確かに「コロナの影響でスポーツニーズが多様化した訳ではないので」分脈は変だが、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響」の文言は別の文章で、この基本理念の項目に残すべきと考える。	P41下から2行目、基本目標(1)健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進で次のように追記します。「少子高齢化やライフスタイル・価値観の多様化、 <u>新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響などにより</u> 、これまでの集団で行うスポーツから少人数や個人で行う運動・スポーツへとそのニーズは変化しています。」

第4章 生涯スポーツ社会を実現するための施策

		質問・意見等	回答
(1)基本目標1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進 (2)基本目標2 人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実	高寺委員	1.昨年11月12日の審議会では、旧版44頁(本年度版45頁)の口頭説明では「with Corona」と「after Corona」の対応が必要とのコメントがあったが、これを是非ここに具体的に挿入してはどうかと提案したい。	新型コロナウイルス感染症への対策や、今後の未知の感染症等も想定し、「新しい生活様式に対応」という文言で記載しています。
	佐野委員	安威川ダム周辺整備事業の一環としてサッカーの一般公式戦が実施可能な多目的運動広場の整備とありますが楽しみであります。しかし、維持管理も大変ですし、一般の市民にとって気軽に使用できる施設となるのでしょうか。計画として、どの程度まで検討されているのでしょうか。	計画しております多目的運動広場は、多くの市民の皆さまに利用していただけるよう、公式サッカー競技のほか、グラウンド・ゴルフやラグビーなど様々な競技に対応した運動広場として整備する予定であります。

改訂にあたっての全般的な意見

		質問・意見等	回答
	長田委員	スポーツ推進計画「茨木市の特徴」について推進計画の全てが重要であると理解致しますがその中でも大阪府全般及び近隣の三島地区3市1町と比較して特筆すべく 必須な内容に関して 明確にして働きかけたいと考えていますが如何でしょうか。ご指摘願います。	本市計画の特徴として、基本理念(スローガン)を「すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまち(生涯スポーツ社会)の実現」と定め、第5次茨木市総合計画においても「みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する」を施策とし、その取組を「多様な生涯スポーツ活動の推進」及び「スポーツ関係団体や指導者の育成」としております。
		令和8(2026)年度時の達成目標について市民の週1回 スポーツ実施率50%とありますが茨木市全般として目標とすることについて 基本的に賛成・賛同です。そのことを達成の為に各種競技主体(団体・組織)毎に 年度別 達成目標 設定 働きかけを提案します。例えば 体育協会は 各種競技種目別に 目的・目標及び取組み事項を具体的に明確にするよう 指導者育成と共に 取組み事項として働きかけたいと考えています。茨木市全体として 三島地区及び大阪府の大会で過去の良かった成績以上の好成績が達成できるよう その為に 当スポーツ推進計画の改訂版が策定され次第 令和4年度の早い時期に 加盟・競技団体に 動機付け・方向付けを始めたいと考えはじめています。	—

パブリックコメントの実施概要について

1 案件

茨木市スポーツ推進計画（改訂案）に関するパブリックコメント

2 公表場所

- ・ ホームページ
- ・ スポーツ推進課窓口（市役所南館8階）
- ・ 情報ルーム（市役所南館1階）
- ・ 各市民体育館（市民・福井・東・南）

3 提出方法及び提出先

- ・ 郵送
〒567-8505
茨木市市民文化部スポーツ推進課宛（住所不要）（最終日の消印有効）
- ・ F A X
072-624-4767
- ・ Eメール
sportssk@city.ibaraki.lg.jp
- ・ 担当課への書面の提出
茨木市役所南館8階 スポーツ推進課窓口
- ・ 電子申込システム(LoGo フォーム)

4 公表日

令和4年2月1日（火）

5 意見等募集期間

令和4年2月1日（火）から2月25日（金）まで

6 案件に対する問合せ先

市民文化部 スポーツ推進課 推進係
電話 072-620-1608
F A X 072-624-4767
Eメール sportssk@city.ibaraki.lg.jp

3 施策の方向性（施策体系） …… 活動の主体(団体・集団・組織)ごとに 活動内容及びその範囲(テリトリー)等 動機付・方向付けに活用・運用

基本 目標	施策の方向性	具体的施策	体育 協会	スポーツ 少年団	スポーツ 推進委員	スポーツ 教室・大 会	小学校 中学校	公民館 コミセン	きらめき 講座運営	ボランテ ィア講座	地区スポ レク大会	子ども会 親善大会	スポーツ フェステ	総合型地域 スポクラブ	
一、健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進	(1)多彩なスポーツの普及・啓発	① スポーツの普及・啓発													
		② スポーツに関する情報 積極的発信													
		③ 誰もが楽しめるスポーツ 普及啓発													
	(2)スポーツを通じた健やかな子どもの育成	① 親子で楽しむスポーツ活動の充実													
		② 小中学校における体力向上取組推進													
		③ 学校の部活動を充実													
		④ 子ども対象 スポーツ活動の充実													
	(3)成人のスポーツへの参加機会の充実	① スポーツ活動を通じた健康づくり													
		② 働き世代・子育て世代 参加機会充実													
	(4)高齢者スポーツの推進	① 運動・スポーツ通じた介護予防活動充実													
		② 身近なスポ・レク活動の充実													
	(5)障害者スポーツの推進	① 障害者スポーツへの支援充実													
		② 障害者のスポ・レク活動の充実													
	二、人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実	(1)地域スポーツの推進	① 総合型地域スポーツクラブへの支援												
			② 地域におけるスポーツ活動の推進												
(2)スポーツを支える人材の育成と支援		① スポーツ施設の確保・育成													
		② スポーツボランティアの育成と活用													
(3)スポーツ施設の整備・充実		① スポーツ設備の整備・充実													
		② 効率的施設運営と利便性向上													
		③ 学校体育施設の開放													
(4)連携と協働による生涯スポーツの活性化		① 関係団体との連携強化と支援充実													
		② 大学や企業との連携													

※施策の方向性及び具体的施策の表現について 紙面スペースの関係から 本文とは多少異なることを ご了解願います。

審議会委員送付後の修正箇所

2022/2/7作成

項番	頁	行	変更前	変更後
1	1	15	—	スポーツは、人生をより豊かに…環境づくりが必要となっています。
2	2	25	—	「2 基本的視点」に「SDGs達成に向けた取組の推進」を追加
3	4	15	—	『「スポーツ」「運動」の定義』に国の第3期スポーツ基本計画での「スポーツ」の捉え方を追加
4	11	12	—	■市民体育館教室別受講人数の推移の平成28年度、29年度の数値を修正
5	12	1	—	■市民プール水泳教室受講人数の推移の令和元年度の数値を修正
6		1	—	■西河原市民市民プール水泳教室受講人数の推移の平成28年度、29年度の数値を修正
7		1	—	■五十鈴市民プール水泳教室受講人数の推移の（※）の年度を修正
8	17	4	年代別には男女ともに <u>10歳代、70歳代</u> の利用が多く、	年代別には男女ともに <u>10歳未満、70歳以上</u> の利用が多く、
9		9	—	■本市における総合型地域スポーツクラブの現況のスポーツクラブレッツの主な実施種目及び活動拠点を修正
10	23	10	「介護予防」「はつらつ出張講座」の概要「 <u>地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援のため、市内の高齢者を含む団体等に対し、介護予防の体操などを行う講師を派遣しています。</u> 」	「 <u>地域で介護予防に取り組む住民やその団体に対し、効果的な活動ができるよう支援を行っています。</u> 」に修正
11	29	1	—	「原因としては、少子化や子どもの習い事の多様化などが考えられます。」を追加
12		18	—	【施策の方向性（3）成果指標】の現状値を「416人」に修正
13	31	9	スポーツ・レクリエーションの利用を中心とした湖岸ゾーンの中で、サッカーや硬式野球などの多目的なスポーツが可能となる広場としての活用を検討しています。	サッカー競技の一般公式戦が可能な多目的運動広場などの整備を検討しています。
14	33	7	また障害者スポーツの推進のため、スポーツ推進委員の初級障害者スポーツ指導員資格取得も支援しています。	またスポーツ推進委員の資質の向上のため、初級スポーツ指導員資格取得も支援しています。
15	34	1	—	【施策の方向性（3）成果指標】の現状値を「3回」に修正
16	36	1	次いで「試合数の減少」や「団体内のイベント等の縮小・見直し」など	次いで「試合数の減少」や「総会や各種会議の縮小・見直し」など
17	39		—	6 計画の改訂に向けた考え方と方向性の(1)(2)(3)の掲載順を変更

審議会委員送付後の修正箇所

2022/2/7作成

項番	頁	行	変更前	変更後
18	41	11	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響もあり、	削除
19	41	19	したがって、多角的かつ総合的な視点で施設整備を進めるとともに、既存のスポーツ施設・ストックの機能と利便性の向上に努めます。	このため、既存のスポーツ施設・ストックの機能と利便性の向上を図るとともに、多角的かつ総合的な視点でスポーツ施設の最適化について検討を進めます。
20	44	10	施策の方向性（１）多様な生涯スポーツの普及・促進	施策の方向性（１）多様な生涯スポーツの普及・啓発
21	45	6	「トップアスリートとの交流の機会づくり」の取組内容中「 <u>オリンピック・パラリンピック選手などの</u> 」	「 <u>オリンピック・パラリンピック選手などへの支援や</u> 」に修正
22	46	1	—	「スポーツ施設情報システム（スポーツ施設案内・予約システム）の運営」をP55の「主な施策の内容」に移動
23		1	「市広報誌・ホームページ等を活用した情報発信」の取組内容中の「 <u>感染症対策</u> 」	「 <u>新しい生活様式に対応した対策</u> 」
24		1	「運動・スポーツに関する相談支援体制の充実」の取組内容中の「 <u>基礎知識等の相談・助言</u> 」	「 <u>新しい生活様式に対応した対策への相談・助言</u> 」
25		5	<u>新しい生活様式に対応したプログラムとして、ウォーキングや、障害のある人もない人も共に楽しめるポッチャの普及に取り組めます。</u>	<u>新しい生活様式に対応したプログラムや、障害のある人もない人も共に楽しめるスポーツの普及に取り組めます。</u>
26	49	2	④子どもを対象としたスポーツ活動の <u>推進</u>	④子どもを対象としたスポーツ活動の <u>充実</u>
27	50	3	■成果指標「市民総合スポーツ大会参加者数（高校生以下）の現状値「 <u>6,794人</u> 」	「 <u>6,974人</u> 」
28	51	8	■成果指標「総合型地域スポーツクラブの20歳代～50歳代の会員数」の現状値「 <u>415人</u> 」	「 <u>416人</u> 」
29	59	1	「スポーツ施設の整備・充実」の取組内容中「安威川ダム… <u>新規設置を検討します。</u> 」	「安威川ダム… <u>整備に取り組めます。</u> 」
30		8	—	②効率的なスポーツ施設の運営と利便性の向上の「主な施策」に「スポーツ施設情報システム（スポーツ施設案内・予約システム）の運営」の欄を追加
31	78 ～ 86		—	（２）スポーツ活動団体アンケート内の文中の数値とグラフ内の数値の不一致を修正
32	90	1	—	「⑦地区スポーツ・レクリエーション大会を今後継続したいか」の記載文を全文修正